

各地区工学教育協会 会長殿
日本工学教育協会 役員殿
学校会員 各位
賛助会員 各位
企業会員 各位

公益社団法人 日本工学教育協会
技術者倫理調査研究委員会

委員長 札野 順
専務理事 本間 弘一
(印省略)

第 2 回ワークショップ「研究倫理」開催案内
－研究倫理教育の現状と効果的教育法－

標記ワークショップを下記により開催いたします。学校会員、企業会員、賛助会員各位におかれましては、会員並びに関係各位にご案内くださいますようお願い申し上げます。各地区工学教育協会におかれましても、地区行事等の折に PR いただければ幸いに存じます。なお、本ワークショップは教育士（工学・技術）のための「教育力向上セミナー」の一環と位置づけをしており、教育士資格保有者、および今後受審予定の方にも有効な学習の機会となります。公務ご多端の折、お手数をお掛けしますが、ご高配のほどよろしくお願いいたします。

1. 開催の趣旨：平成 26 年 8 月に文部科学省が発表した「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」では、大学等の研究機関が組織的に研究倫理教育を行うことが求められています。本ワークショップでは、基調講演やラウンドテーブルを通して研究倫理教育の現状について理解を深めるとともに、カリフォルニア大学で開発された研究の現場で倫理教育を行う手法について学びます。倫理教育に関心をお持ちの方など多数のご参加をお願いいたします。
2. 開催日程：平成 29 年 2 月 18 日（土）10：30～17：00（10：00 受付開始）
3. 開催会場：東京工業大学大岡山キャンパス
西 9 号館 2 階コラボレーションルーム（東京都目黒区大岡山 2-12-1）
東急目黒線・大井町線 大岡山駅出口より徒歩 7 分
<http://www.titech.ac.jp/maps/ookayama/ookayama.html>
4. プログラム：別紙
5. 募集人員：60 名（先着順受付）、日工教会員外も受講可
6. 申込み：1) 添付の参加申込書にて、Fax 又はメールでお申し込みください。
2) 申込み期限 2 月 10 日（金）17 時まで（期限厳守）
7. 参加費：

日工教個人正会員	日工教団体会員所属非会員	非会員
8,000 円	9,000 円	11,000 円

当日受付でお支払いください。領収書をお渡します。（お釣銭のないようにお願いいたします）

なお、今年度開催のコミュニケーション WS、技術者倫理 WS、エンジニアリング・デザイン WS と合わせて、お一人で複数回参加される場合は、割引料金を設定していますので、別表を参照ください。

8. 継続教育ポイント：全プログラム参加者は 11.5 ポイント(6.5 時間＋参加 5 ポイント)
それ以外の方は、1 時間につき 1 ポイント＋参加 5 ポイント
9. お問い合わせ先：日本工学教育協会 事務局 徳田
Tel 03-5442-1021 Fax 03-5442-0241, kaiin@jsee.or.jp

以上

第2回ワークショップ「研究倫理」
－研究倫理教育の現状と効果的教育法－

開催日時：平成29年2月18日（土）10：30～17:00（10：00受付開始）

開催会場：東京工業大学西9号館2階コラボレーションルーム

プログラム

【概要】研究倫理教育の現況について理解するとともに、研究の現場で倫理教育を行う手法について、ワークショップ形式で学び、知見を深める。

(敬称略)

10：30～10：35	開会挨拶（事務局） 公益社団法人日本技術者教育協会専務理事 本間 弘一	5分
10：35～10：40	開催趣旨，スケジュール説明 札野 順（技術者倫理調査研究委員会委員長/東京工業大学教授）	5分
10：40～11：10	基調「研究倫理教育の現状と課題－単なる研究不正防止を超えて－」 講師 札野 順（技術者倫理調査研究委員会委員長/東京工業大学教授）	30分
11：10～11：20	基調講演への質疑・応答	10分
11：30～11：40	アイス・ブレイキング	10分
11：40～12：30	ラウンドテーブル「研究倫理教育のあり方－大学・研究機関が目指すべきもの－（仮）」 広瀬 登（文部科学省科学技術・学術政策局人材政策課研究公正推進室長） 片倉 啓雄（技術者倫理調査研究委員会委員/関西大学教授） 札野 順（技術者倫理調査研究委員会委員長/東京工業大学教授） 大学等の研究倫理教育責任者（交渉中）	50分
12：30～13：30	（昼食休憩）	60分
13：30～	ワークショップ「研究の現場での倫理教育」 講師 札野 順（技術者倫理調査研究委員会委員長/東京工業大学教授）	
13：30～13：50	セッション1 「概要説明」及び「研究の現場で倫理を教える必要性と有効性」	20分
13：50～14：20	グループ・ワーク1	30分
14：20～14：40	セッション2 「研究の現場で倫理を教える手法1」	20分
14：40～15：20	グループ・ワーク2	30分
15：20～15：30	（休憩）	10分
15：30～15：50	セッション3 「研究の現場で倫理を教える手法2」及び「今後の展望」	20分
15：50～16：20	グループ・ワーク3	30分
16：20～16：50	発表・コメント	30分
16：50～17：00	総評 片倉 啓雄（技術者倫理調査研究委員会委員/関西大学教授）	

- 研究倫理教育実施上工夫していること、事例、教育効果測定方法や学習成果の評価方法など、アイデアがありましたらお持ちよりください。
- ご所属の学協会の倫理綱領、ご所属の機関の行動規範等があれば、ご持参ください。
- 講師の都合により、講義時間が一部変更になることがありますので予め、ご了承ください。
- グループ・ワークについては、パワーポイントで発表して頂きますので、可能ならパソコンをご持参ください。